



山梨県立図書館

「放送ライブラリー」 所蔵作品紹介（上映会）

会場 山梨県立図書館
2階多目的ホール

2024

6/16（日）

参加無料

※事前申し込み不要
会場に直接お越しください

午前の部 10:00 - 11:15

午後の部 13:30 - 14:45

午前の部（開場 9:30）

10:00～10:50 「甲府をつくった男 武田信虎 かけがえのない甲斐国」 2018年 テレビ山梨（UTY）46分

1507年、武田信虎はわずか14歳で親類同士の後継者争いに打ち勝ち、武田家の家督を継いだ。さらに甲斐国内の国人を次々と破り、1年で甲斐の国の統一に成功する。1519年に躑躅ヶ崎へ居館を移し、家臣をその周辺に集住させるとともに、商職人町の設定や寺社の創建、市場の開設などを進め、大規模な城下町の整備に着手した。これが甲斐の府中、「甲府」の始まりだ。その後、嫡男の信玄は甲斐の守護になり、釜無川に信玄堤を築き、新田や金山の開発を進め交通網を整えるなど民政に実績を残すとともに、領国の拡大を図り、戦国武将としてのゆるぎない地盤を築くこととなる。歴史の中で常に輝きを放つ武田信玄だが、彼が活躍できる基盤を築いたのは、父・信虎と言えるのである。500年前、甲斐の国を統一した武田信虎とはどんな人物だったのか、番組では山梨や日本各地に残る信虎の足跡を辿り、甲斐の国を誕生させた男の生涯に迫る。
こうふ開府500年記念番組。

11:00～11:15 「ふるさと紀行・技の彩り [7] 甲州印伝（山梨・甲府市）」 1996年 東海テレビ（THK）12分

日本各地を訪れ、受け継がれる伝統工芸の技と心を紹介する。
印伝といえば今では甲州印伝を指す。印伝作りの技術を持つ人が、山梨にしかいなくなってしまったからだ。布のようになめしたシカ皮に、漆で艶やかに模様付けしたものを印伝と呼び、小銭入れやタバコ入れなどの贅沢品に生かされている。日本で唯一残る甲州印伝の技法を、甲府の風土と共に描く。

午後の部（開場13:00）

13:30～14:45 「時空の旅人 -ポロ電が運んだ時代-」 2012年 山梨放送（YBS）72分

戦前、戦中、戦後と、山梨県の西部を30年に渡って走り続けた「山梨交通電車線」。廃線となってから長い年月が流れたが、今なお地域に愛され続けている。

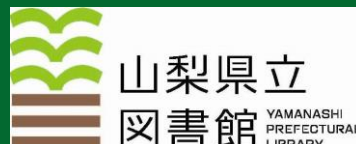
片田舎の田園を時速30キロで走る電車は「ポロ電」と呼ばれて親しまれた。一両編成の電車は運転手も乗客も顔見知り。映画が予定よりも遅く終わるときは発車を遅らせたり、小さな子供を運転席に入れてベルを鳴らさせてくれるなど、今では想像もできないふれあいポロ電にはあふれていた。

その廃線から50年となった2012年。番組では、線路跡を辿りながら、ポロ電に深くて熱い思いを持ち続ける人々を訪ね歩く。旅人は写真家の桑嶋維と三浦実夏アナウンサー。ポロ電を知らない2人が、旅をしながら様々なエピソードに出会う。YBS開局記念特別番組。

「放送ライブラリー」とは、公益社団法人放送番組センターが放送初期から近年までに、NHK、全国の民放各局が放送したテレビ、ラジオ番組から作成したライブラリーです。山梨県立図書館は、放送番組センターの「放送ライブラリー公開番組ストーリーミングサービス」を利用し、過去のテレビ・ラジオ番組を館内のパソコンコーナーで無料で視聴することができるサービスを提供しています。この放送ライブラリー視聴サービスを広く県民の皆様にご案内いただくため、山梨の自然、文化・産業や交通、歴史など、身近な話題として県民の関心が高いと思われる番組タイトルを選んで上映いたします。

先着順
定員60名

お問合せ先 山梨県立図書館 企画振興担当
☎ 055-255-1040（代表）



県立図書館HP